

第 1 4 回 山田地区

川合市長と語り合うタウンミーティング

日時：平成 2 1 年 8 月 1 9 日（水）

午後 6 時 3 0 分～ 8 時 3 0 分

場所：北部地域ふれあいセンター

対象地区町字名

大字上寺山、大字寺山、大字福田、大字山田、大字府川、大字石田

参加者

1 性別

男 性	44
女 性	19
無回答	0
合 計	63

2 年齢別

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
男 性	0	0	2	4	5	17	16	0	44
女 性	0	0	1	2	6	10	0	0	19
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	3	6	11	27	16	0	63

3 職業別

	学生	会社員 公務員	自営業	主 婦	農 業	その他	無回答	計
男 性	0	8	7	0	8	21	0	44
女 性	0	0	1	16	0	2	0	19
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	8	8	16	8	23	0	63

出席者

市長、大野副市長、石川副市長、広報監、総合政策部長、総務部長、市民部長、福祉部長、環境部長、都市計画部長、建設部長、教育総務部長

意見数

1 会場

発言者数... 13人

意見内容

分類	件数	内 容	頁
福 祉	4	・ 高齢者福祉の計画について	4
		・ 介護保険料について	4
		・ 生活保護費の不正受給について	6
		・ 障害者支援について	9
道路・交通	7	・ 道路整備について	3
		・ 横断歩道橋の改修について	3
		・ 水たまり対策について	4
		・ 道路整備について	7
		・ 用排水路整備について	7
		・ 交通事故対策について	8
		・ 道路拡張について	10
環境・衛生	1	・ 廃棄物収集業者のにおい対策について	4
公 園	2	・ 公園の設置	3
		・ 寺山運動公園の水はけ対策について	8
議会・選挙	1	・ 政務調査費について	5
そ の 他	3	・ タウンミーティングでの意見について	3
		・ 若者にスポットを当てた行政について	8
		・ 子どもが遊べる施設の設置について	10
計	18		

意見交換（要約）

《タウンミーティングでの意見、道路整備、横断歩道橋の改修、公園の設置》

意見 タウンミーティングは、数々の地域で行っておりまして、本日、皆様方からご質問があるかと思えますけれども、それをぜひ行政に生かしていただきたい、これがまず第一のお願いでございます。

山田中学校にはアクセスのための広い道路がございませんので消防自動車も入れない。いざ災害、火災ということになりますと大型バスが入れないという状況で、地域としては非常に不便を感じております。道路を修繕いただくと同時に 8 メーター程度のアクセス道路を早急につくっていただきたい。

山田小学校の前に横断歩道橋がございますが、あちこち腐っているような状況でございます。この横断歩道橋の早期修繕、改修をぜひお願いしたいと思っております。

山田地区には森林公園的な大きな公園は一つもございません。公園の整備といいますのは、適正な配置というのがありまして、半径 250 メーター間隔で街区公園をつくるとか、そのほか近隣公園とかの小公園はあると思います。地域住民が利用する、昔の児童公園みたいになっているような公園もぜひつくっていただきたい。

染谷建設部長 山田中学校へ入る道路につきましては、北側と南側にございまして、いずれもおっしゃったように 3 メーターほどの道路でございます。南側の道路は市道 235 9 号線といいまして、現在 9 メーターで整備しておりますので、その続きとして歩道をつけた幅員 9 メーターにできればと考えております。通学路にも指定されておりますので、早急に危険なところは補修したいと考えております。

山田小学校前の横断歩道橋は 40 年以上たちましてだいぶ古くなっておりますので、今年度中にさびの多いところ、また穴のあいたところの補修をさせていただきたいと考えております。今年度は橋梁の点検調査委託をしますもので、この歩道橋も調査をさせていただきまして、調査次第で来年度、予算要求をして整備していきたいと思っております。

鹿ノ戸都市計画部長 この山田地区には公園が少なく、地域の皆様には大変ご迷惑をかけていることを深くお詫びしたいと思っております。数年前に南山田地区で公園整備の話が持ち上がったということでございましたが、白紙に戻ってしまったということも聞いております。いずれにしても、公園をつくるためにはある程度まとまった土地と財源が必要でございます。川越市としましても一生懸命候補地を探しているわけですが、もし皆様のほうで何かよい情報等がございましたら、ぜひ公園整備課のほうへお知らせいただければと思っております。皆様の地区に公園が少ないということは十

分認識しておりますので、今後とも努力していきたいと思っております。

《水たまり対策》

意見 西町に集会所があるのですが、川を渡って反対側の道路を整備した後、水がたまりやすくなって大変困っています。川側のほうに低くしていただければ済む問題だと思うのですが、なかなかやってもらえないのでお願いしに来ました。

染谷建設部長 西町の関係につきましては、平成 20 年 1 月 7 日と 6 月 28 日に、それぞれご要望をいただいております。民地が片方にございますので、それを高くするということは、出入りの関係がございますが、水たまりをなくすだけということであれば、本年度中に対応していきたいと考えております。

《廃棄物収集業者のにおい対策》

意見 廃棄物収集業者のことで悩まされています。パッカー車とかを洗わないので、においがひどいんです。言ってもなかなかやろうとしないので、いつもくさくて悩まされています。

小川環境部長 今のお話につきましては、市もごみの収集の委託もお願いしております。においの関係につきましても、いろいろと報告は受けております。指導させていただいて、一定の改善が見られる部分がかったという報告も受けております。

意見 朝と夕方になると来ているわけです。ごみの日になるとまた積みかえたりしているわけです。だからそのときはにおってくるんです。

小川環境部長 その辺の実態が調べている限りでは、明確な把握ができておりません。それらも含めまして今後さらに調査して指導していきたいと思います。

《高齢者福祉の計画、介護保険料》

意見 これから先、ひとり暮らしの人が困ったときに手を差し伸べるのが市役所の仕事だと思うんですよ。老人ホームの計画とか、これは 10 年、15 年、20 年とかかることだと思ってはいますから早めに計画を立てていただきたい。

それから、介護保険料を 3 年に一度見直しをするというんですけれども、年金が、原資がふえて介護保険料がふえるのならまだいいと思うんですが、介護保険の費用が足りないから 3 年に一度見直しをするんだと。原資がふえないで介護保険料だけがふえるのはおかしいと思うんですよ。

吉野福祉部長 川越市は計画的に川越市介護保険事業計画、老人保健福祉計画を 3 年ごとに見直しています。例えば特別養護老人ホーム、こういったものを今後 3 年間でどれだけふやしていくかなども、その計画に基づいて進めている状況です。

介護保険の保険料のお話が出ましたけれども、その計画の中で、今後 3 年間でどれだ

け介護保険の費用がかかるだろうかという試算をいたします。その中には施設がどれだけふえる、施設を利用する方もふえる、そういったものも含めて試算をいたします。介護保険は国、県、市でそれぞれお金を出し合います。それと 40 歳以上の 2 号被保険者と 65 歳以上の 1 号被保険者の方からも保険料をいただいて運営していくという仕組みになっています。65 歳以上の方がふえており、それに伴って介護にかかる費用もふえていきますから、国、県、市の出すお金がふえると同時に保険料も上がるという状況です。川越市では今回の改定で約 14.7%の引き上げになりました。低所得の方は収入がふえないのに保険料ばかりふえるということになりますので、保険料の基本額の段階を、今までの 8 段階から 10 段階、特に所得の少ない方の階層をふやしまして、今までよりも割合が低くなるように取り組んでおります。

川合市長 年金がふえないのに介護保険料等がふえていくのは困るというそのご意見は、まことにもっともだとは思いますが、収入が少ない人の負担を減らすように福祉部長が申し上げたような工夫をする、あるいは独自の補助のようなものをつくる、自治体としてはそういう方法しかないというところでございます。高齢者の方のために補助を出していきたいというのは山々ですが、ほかにもやらなければならない事業がたくさんあるというところで、かなりの限界はございます。しかしながら、これから高齢者の方がどんどんふえていく、そういう中で自治体としても補助をふやしていかなければいけないということは認識しておりますので、できる限りの努力はしていきたい、そういうお答えでご理解いただきたいと思います。

意見 介護保険料を決める場合、250 万円から 300 万円までは同じだというんですね。50 万円の差があるわけですよ。それで保険料が同じというのはおかしいんじゃないかと市役所に言ったんですよ。市役所に言わせると、これは総務省からの命令だと言うんです。もう少し細かくする必要があると思うんです。高齢者に対して厚い仕事をやってもらいたいと思います。

吉野福祉部長 介護保険は平成 12 年度から始まりまして、そのとき保険料は 5 段階の区分でした。今回は第 4 期ということですが、ここで 10 段階にしました。できるだけ幅を狭くして、きめ細かくという趣旨です。この辺はある程度市の裁量でできる部分でもございますので、今後第 5 期以降、そういったご意見も伺いながら検討させていただきたいと思います。

《政務調査費》

意見 市長と副市長の報酬をカットしてくださったことに対して市民としてお礼を申し上げたいと思っています。しかし、市長の報酬をカットする前に政務調査費のほうこ

そカットするべきではなかったかと思っています。また議員に支払われている費用弁償のことについても考えていただきたかったと思っています。

8月6日の新聞をごらんいただいた方も結構いらっしゃると思うんですが、また政務調査費のむだ遣いを繰り返しまして憤慨しております。芳野地区のタウンミーティングで、政務調査費をやめたらどうだというお声があったようです。そのときは、議会の同意が必要であるとお答えになったようですが、交付しないと決めることは市長ができるんじゃないかと思っています。19年度では約2,500万円が使われたんですが、それは市政に関する調査研究というよりも、会派の経費のような感じに見えるんです。ご自宅で取っている新聞代を政務調査費にしているという人がかなりいるんです。政務調査費は議員の生活を助けるものではないと私は思っているんです。今後も続けるかどうかということをお聞きしたい。もしもやめると決断してくださったときに、議会から何か反発のようなことが起きたときには、今回のように市民を集めて市民に報告をしていただきたいと思っています。どっちが正しいのか市民の私たちが判断したいと思っています。私たちは今後の選挙におけるその資料にしたいとも思っています。

川合市長 まだ私は政務調査費を続けるかやめるかという問題について検討を始めていません。私の考えとしては、議会のことは議会が決めてくれるのが一番いいという考えであります。現に議会も少しずつ変えようという方向に来ていると私は見ておるのですが、今のご意見も踏まえまして、今後私のほうとしても検討を進めていきたいと考えております。

《生活保護費の不正受給》

意見 生活保護費不正受給の記事をお読みになってくださったでしょうか。川越市は、昨年7月に県警から情報提供を受けた後も、逮捕されるまでの8カ月間、生活保護費を支給し続けたと。財源って決まっていますよね。こういうふうに使っていたら気がついたときに残ってないわけですよ。また、間違いを起こしたときにどう対応するかが問われると思うんですが、350万円の不正受給を受けた人に2カ月に一回、約5,000円の返済、全額返済に100年かかるんですよ。大事な税金を流していく、監査もちゃんとやらないで、皆さんはちゃんと給料やボーナスをいただいて、本当に困っている一人暮らしのお年寄りを孤独死させているという現実をわかってらっしゃいますか。

吉野福祉部長 新聞の記事になったことは事実です。不正がはっきりするまでは、生活保護も一つのセーフティーネットですから、なかなか打ち切れないという事情もあったようですが、結果的には不正を見抜けずにまみれし続けてしまったということがあったわけです。当然返還を求めているわけですがけれども、経済的な状況等で、全額返還する

までに日にちがかかるといことです。私どもも早めに何とかできなかったというところで反省しております。

それから、お年寄りお一人お一人の話、これは高齢者福祉という部門でやっています。実態としてひとり暮らしの方たち全員を把握しきれてないということがありますので、どれだけ目が行き届くようにするか、職員だけではなく、地域の見守りという点をどうしていくかという部分も含めて検討をしているところでございます。

川合市長 旦那さんが逮捕されてしまい、奥さんと子どもさんが、余り収入がないため、現実的な金額ということで決まったのではないかと思います。旦那さんが戻ってきた場面には増額を要求するとか、そういうこともきちんと対応します。

それと不祥事などがあつたときに、再発をさせない指導についても十分承知しております。ことしの3月に、社会福祉協議会で横領事件があつたということがわかりました。そのときに調べてびっくりしたのは、平成18年に青少年健全育成協会で5,000万円を超える横領事件があつたにもかかわらず、ほかの部署に対して現金の出納などをチェックしろという指示が出た形跡がどうもない。平成18年にそういう指示が出ていれば、社会福祉協議会の事件も、その時点ですぐわかっていただろうという思いを持っております。もちろん、社会福祉協議会の事実がことしの3月下旬にわかり、すぐに他の部署にも職責体制など精査しなさいという指示を出し、その結果も上がってきております。不祥事があつた場合に再発をしないように、指導は徹底させていくという考えでございますので、どうぞご理解をいただきたいと思ひます。

《道路整備》

意見 北環状線が開通して信号ができ、国道254号から芳野の工業団地へ向かう道路が、開通したとたんに、今までの3倍以上の交通量になってきたということで、農作業をすると、非常に危険が伴うという状況になってきたわけでございます。これから農繁期を迎えるに当たって、行政としてどのような考え方で現在進められているのか、その辺をお伺いできればと思ひます。

染谷建設部長 北環状線が国道254号に接続しまして、その東側の道路の関係かと思ひます。その道路は、通常の幹線道路として整備をしております。昨年度に引き続き今年度は90メートル前後を整備し、その後つきましては、県道栗橋線までの整備を平成22年度から実施していきたいと思ひております。

《用排水路整備》

意見 山田地区はとりわけ農業が盛んで、用水路や排水路が数多く流れておりますが、上寺山地区の用排水路の整備が進んでないみたいなので、周辺の地元の皆さんから整備

の要望が出ております。そういった整備の要望についてお聞きしたいと思います。

染谷建設部長 当地区につきましては入間川から用水を引いておりますので、普通河川が多くなってございます。その中で浚渫の要望や、構造物を入れてある程度道路を広く使えるようになど、いろいろご要望をいただいております。河川については下流から進めておりますが、その河川が準用河川かどうかなども加味しながら予算内で整備しているのが現状でございます。今後とも河川の整備につきましては努力していきたいと思いますので、ご理解をお願いしたいと思います。

《寺山運動公園の水はけ対策》

意見 平塚橋の上流側に寺山のグラウンドがあるかと思います。先日利用する機会がございまして、たまたま台風の関係もあったのですが、かなり水たまりが多い。この辺は台風の後は何度も冠水しているのを見ていますので、水道とかトイレとか階段とか用意していただいて非常に助かるんですが、もう一つ、水はけの関係を改善していただければと思います。

鹿ノ戸都市計画部長 ただいまの点につきましては、現地をよく調査させていただきまして、対応していきたいと思っております。

《若者にスポットを当てた行政》

意見 若者にスポットを当てた行政をしていただけたらと思って述べさせていただきました。例えばこういったタウンミーティングも、地元の中学生とか高校生を集めてやってみるとか、若者の活躍ぶりを川越市のホームページとかあるいは広報川越とか、川越のケーブルテレビとかでもっとアピールしていただいてもいいんじゃないかと思っております。まちを挙げて若者を応援しようとか、豊かな心の若者たちを育てていきたいなと感じております。このまちの、この県の、そしてこの国の期待、希望の星となるようなタレントを発掘して育てていきたいと思います。

川合市長 今の方のご意見にありましたように、年代ごとのタウンミーティングもありかなと考えております。実はきょう、文化団体連合会の会長さんと話をしておりまして、スポーツとか文化的な面で、個人あるいは団体を市として表彰するような制度があったらいいですねというお話を伺いました。川越市としても、今いろいろ考えておりまして、ぜひそういう成果を上げられたという方に対しては表彰、ないしは顕彰するような制度を次年度ぐらいには実現させたいと考えております。若者に限らず、文化、スポーツ面の政策にも力を入れていきたいと考えております。

《交通事故対策》

意見 北環状線が落合橋のたもとまで開通いたしました。来年3月には新清掃センター

も完成、平塚橋より市道 2506 号線を延伸させ、北環状線に合流されるのも来年 3 月と聞かされております。今にも増して交通量の増大が予想されますので、少しでも地区から交通事故を減らしたいと日々一生懸命努力しております。

そこで市長さんにお尋ねしたいと思います。今後の付帯道路、側道整備に伴い、新たな道路標識の設置など、交通安全に関して積極的なご指導、ご協力をいただけるのかどうか。北環状線と交差する上寺山、寺山等の北地区の東西に走る市道、農道整備が必要と思われますが、今後拡大を受けて改修、整備をしていく予定が何箇所あるのか、きょうの段階でわかる範囲でお伺いしたいと思います。

川合市長 交通事故につきましては大変悲惨なものであり、加害者にとっても被害者にとっても悲惨な結果をもたらすということは、私も弁護士として交通事故の事件にかかわってきましたので、よく承知しているつもりでございます。何とかして交通事故は撲滅していかなければならない、ゼロに限りなく近づけるような努力をしていかなければならないということは考えております。川越市も交通安全協会や交通安全母の会など、関連の団体と、もちろん警察等とも連携して減少、撲滅に努力しておりますし、これからも力を入れてまいりたいと考えております。

染谷建設部長 要望していただいている路線は 33 カ所ございます。そのうち、現在完成しているのが 11 カ所、事業実施中が 6 カ所、未着手が 16 カ所というような状況でございます。そして北環状線に関係していると思われる道路は 16 路線ほどございます。これは地元の方と計画についてお話しした中で、整備する路線が検討されていると思います。今年度は 10 カ所、10 路線ほどの工事を進める予定でございます。今後、路線によっては用地買収などをして整備していきたいと考えております。

《障害者支援》

意見 私の息子は、笠幡にできました障害者施設に入所しております重度の心身障害者です。息子を施設に入所させたことによってある意味では大きな安心を得たのですが、入所施設はヘルパーさんなどのような外の支援が一切使えないということに気がつきました。それは入ってから初めて知ったことでした。入所施設の職員さんのところで回しなさいというのが国の基本的な制度なんだそうです。ぜひこのところを、川越市として、一步を踏み出していただけないかということで、切なるお願いに参りました。

吉野福祉部長 市独自ということになりますと、その費用を全額市が負担するという案が一つございます。利用者負担をどうするかなどいろいろありますが、そのお話は以前にも聞いておりますので、引き続き検討させていただきます。

川合市長 私の考えとしては、障害者の方は、いろいろな形でやはり行政がそのかなり

の部分を担当していくべきであるという考え方でおりますので、今の方のご要望も検討させていただきたいと思います。

《子どもが遊べる施設の設置》

意見 山田地区に大きな公園がないということで近くの運動公園に遊びに行くのですが、雨が降ったときなどは、遊ぶ場所が少ない。川越市にはこどもの城という建物があるんですけども、行っても遊具がほとんどありません。上尾市にもこどもの城というのがあるんですけども、その施設はものすごくすばらしい。将来はお年寄りを支える大切な子どもですから、そういう子どもがゆっくり楽しく遊べる施設の建設をよろしくお願いいたします。

清水市民部長 現在、児童遊園は百八十力所相当ございます。面積は大きくないわけですが、地権者の方にご理解をいただいて無償でお借りして、遊具を設置しているという状況でもございます。

ただいま、こどもの城等の施設の関係でご意見をいただいたわけですが、この点につきましては承っておきたいと思います。

《道路拡張》

意見 上寺山の山田神社の裏とか、道路拡張について市役所をお願いに行ったことがあります。もう平成 12 年だから年数がたっているんですけども、予算が伴わないということで、4 メートル道路に仕上がっちゃうのかなという不安があるんですよ。今は、広げるチャンスなんだけれども、その点どんな考えを持っていらっしゃるのかということです。

染谷建設部長 今ご要望の路線は、市道 2371 号線、市道 2377 号線、それから市道 2369 号線の所だと思います。確かにご要望をいただいておりますが、現在のところ着手はできない状況でございます。ご存じのように北環状線の整備に伴って、接続部分の道路を大変多く行っているのが現状でございます。この整備が終わり次第、順次進めていきたいと考えておりますのでご理解を賜りたいと思います。